



2019 年度・事業報告書

2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人・インド太平洋問題研究所

1. 活動の成果

設立の初年度となる本年度は、まず会員を募る作業を優先的に行いました。その結果、総会員数は 100 名を超えるほどの組織となりました。この他、当会は研究員 4 名（在学を含む）の他、大学院生の研究員を 3 名サポートいたしております。そして、当会の設立を祈念する第 1 回 RISSK 年次シンポでは、上ノ谷空将を基調講演者とするローンチ・イベントを開催し、盛会のうちに幕を閉じました。さらに、当初のミッション・ステートメント（MS）どおり、RIIPA は研究フォーラム（IPSEF）や安保研修（RFS）を精力的に実施することができました。

その他、隣国との域内交流事業として、在韓国の ELI 公共政策研究所が主催する二つのイベントに参加し、日韓関係が揺らぐ中で安保・外交領域において両国関係の深化に貢献しました。これらの活動を通じ、インド太平洋地域の地政学的情勢についての現状分析並びにリスク分析に関する情報提供を行うとともに、価値を共有するインド太平洋地域の国々との交流をより一層促進させました。さらに、次世代の若手研究者の育成に貢献するなど、当法人は多岐に及んで旺盛に活動することができました。他方、3 月に予定されていたインド国防研究所、インド国会図書館、そして国際交流基金との合同シンポは、新型コロナウイルスによって中止に追い込まれてしまったことは誠に残念でした。こちらにつきましては次年度、予算を無事に確保できた時点で再び実施したいと考えております。

最後に、本年度は名誉顧問に岸加公彦元陸将（前中部方面総監）を迎えることができ、安保に関する理解と知識を深めるという RIIPA の活動理念を実行する上で大きな威力を発揮してくださると確信いたしております。

2. 特定非営利活動に係る事業

- MS1: インド太平洋地域における国際政治及び安全保障の領域に関する知識の拡大・普及を目指す研究会やフォーラムなどの開催

【RISSK】

- ① RIIPA 設立記念シンポジウム/RIIPA 国際セキュリティ関西シンポ（RISSK）
 - ・日時：2019 年 5 月 11 日（土）15:00-18:10
 - ・場所：神戸防災合同庁舎 2 階会議室
 - ・基調記念講演：上ノ谷 寛（航空自衛隊南西航空方面隊司令官）
「南西諸島を取り巻く安全保障環境」
 - ・パネリスト：坂本雄一（中部方面総監部幕僚副長）、生田目徹（兵庫地本長）、
長戸雅子（産経新聞編集局長）、簗原俊洋
 - ・司会者：荒島千鶴（神戸学院大）、飯田健（同志社大）

インド太平洋安保理解を

研究所発足 神戸でシンポ

日本を取り巻く安全保障環境について市民の理解を深めるシンポジウムが神戸市内で11日開かれ、自衛隊幹部や大学教授、市民ら約90人が意見を交わした。写真。



今年4月、同市に設立されたNPO法人、インド太平洋問題研究所(理事長、寶原俊洋神戸大学大学院教授)が発足を記念して催した。寶原理事長は「インド太平洋の地政学的リスクが増す中、市民、民間が安全保障への理解を深めることが必要」と述べた。基調講演では、航空自衛隊の南西航空方面隊司令官、上ノ谷寛空将が南西諸島防衛について報告した。沖縄が観光や国際物流拠点として経済発展する一方で、中国による領空、領海侵犯が急増し、那覇基地からの緊急発進(スクランブル)も増加傾向にあることから「経済と安保は車の両輪。空海拡張が国家事業として重要になっている」と語った。安保のための多国間交流の必要性も訴えた。参加者からは、基地を置く地元との連携や国際協力活動について活発な質問が寄せられた。同研究所は今後、自衛隊基地の視察や海外研究者らとの交流を進めるほか、関西でシンポジウムを定期的に開催する。

『産経新聞』(2019年5月13日)

【IPSEF】

- ② 第1回・インド太平洋問題セキュリティフォーラム
 - ・日時：2019年7月6日(土) 16:00-18:00
 - ・場所：神戸大学大阪凌霜クラブ(大阪駅前第1ビル11階) セミナー室
 - ・報告：Shahana Thankachan (インド JNU 大学、神戸大学に留学中)
 “Dynamics and Prospects: India’s Role in Japan’s Grand Strategy in the Indo-Pacific”
 Guarav Dutta (インド JNU 大学、新潟大学に留学中)
 「日印両国の「開かれたインド太平洋 (FOIP)」における ASEAN 要因」
 - ・出席者：34 名
- ③ 第2回・インド太平洋問題セキュリティフォーラム
 - ・日時：2019年10月26日(土) 16:00-18:00
 - ・場所：神戸大学大学院法学研究科(第2学舎、163教室)
 - ・報告：萩藤 大明 (ABD・神戸大学)
 「米国の戦後初期東アジア安全保障構想と日米関係、1945-1955年」
 Shakhnoza Eshonkulova (ABD・神戸大学)
 「東アジアの日ソ関係における米国の役割、1970-1980年代」
 - ・出席者：32 名
- ④ 第3回・インド太平洋問題セキュリティフォーラム
 - ・日時：2019年12月21日(土) 16:00-18:00
 - ・場所：神戸大学大阪凌霜クラブ(大阪駅前第1ビル11階) セミナー室
 - ・講演：六車 昌晃(陸将補・武器学校校長)
 「平素からの戦いと陸上自衛隊」
 - ・出席者：38 名
- ⑤ 第4回・インド太平洋問題セキュリティフォーラム(新型コロナのため、中止)
 [インド国防研究所、インド国会図書館、国際交流基金、及び阪大との共催]
 - ・日時：2020年3月7日(土) 10:30-17:00(昼食自由)
 - ・場所：大阪大学中之島センター・会議室406 (日本語・英語の同時通訳あり)
 - ・基調講演：寺田博之(海一佐・阪神基地隊司令)
 「海上自衛隊と開かれたインド太平洋」

- ⑥ 第5回・インド太平洋問題セキュリティーフォーラム（新型コロナのため、10月17日に延期）
- ・日時：2019年4月11日（土）16：00-18：00
 - ・場所：神戸防災合同庁舎2階会議室
 - ・講演：村川豊（元海将・前海幕長）
「海上自衛隊の現在と今後の課題」

●MS2： インド太平洋地域の対外政策、政治動向などの情報収集、評価及び分析の提供

【RFS】

- ①安保研修・基地見学
- ・日時：2019年6月7日～9日
 - ・場所：宮古島・与那国の各駐屯地（空自及び陸自）
 - ・参加者：12名
- ②安保研修・基地見学
- ・日時：2019年9月3日～4日
 - ・場所：舞鶴基地（海自）
 - ・参加者：9名

●MS3： インド太平洋地域における次世代の指導者の育成と域内交流の活性

【Indo-Pacific 域内交流】

- ① ELI-RIIPA 日韓交流フォーラム
- ・日時：2019年10月1日～3日@12：00-15：00
 - ・場所：ソウル（ノボテル・ガンナムホテル）
 - ・参加者：150名

- ②ELI-RIIPA 日韓交流フォーラム
- ・日時：2019年11月2日～3日@12：00-15：00
- 場所：釜山（海雲台シークラウド・ホテル）
参加者：40名

【その他の事業】

- ・該当なし

4. 事業実施体制

（1）会議に関する事項

①設立準備会議

開催日 2019年1月23日@10時00～12時00分

場 所 神戸大学大学院法学研究科 蓑原研究室

出席者 理事会構成員（5名）

議 案 ・特定非営利活動法人インド太平洋問題研究所設立についての意思決定に関する事項

- ・特定非営利活動法人インド太平洋問題研究所設立趣意書に関する事項
- ・特定非営利活動法人インド太平洋問題研究所定款承認に関する事項
- ・設立初年度及び翌年度の事業計画に関する事項
- ・設立初年度及び翌年度の予算に関する事項
- ・特定非営利活動法人促進法第2条第2項第2号及び第12号第1項第3号に該当する団体であることの確認に関する事項
- ・役員を選任に関する事項
- ・事務所の決定に関する事項
- ・設立代表者選任と権限委譲に関する事項
- ・議事録署名人の選任に関する事項

②理事会

開催日 2019年5月30日

場 所 RIIPA 事務所（神戸市灘区六甲台町2-1 簗原研究室）

出席者 6名（理事総数5名及び監事1名）

議 案 2019年度決算書及び事業報告、2020年度予算書、今後の予定事業報告

（2）事務局体制

①事務局長：木村共宏 事務局スタッフ：足立

（3）会員（2020年3月31日現在）

① 正会員（社員） 11名

② 賛助会員 90名（法人会員1団体含む）

③ 研究員及び特別会員 4名

合計： 105名

以上